

「東日本大震災 学童保育募金」 ご協力をお願い

二〇一六年四月 全国学童保育連絡協議会

東日本大震災と原発事故から五年が経過しました。保護者、指導員、行政関係者などの努力により、被災した地域でも多くの学童保育が再開され（原発事故による避難指示区域等を除く）、放課後や長期休業中の子どもの生活を守り、働き・子育てをする家庭を支えています。

しかし、震災以前から、学童保育の整備はたいへん不十分なものでした。二〇一五年四月から本格実施された子ども・子育て支援新制度に関わって、取り組むべき課題を前に、困難を抱える地域も少なくありません。被災した地域の学童保育が本来の役割を果たすことができるよう、全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は国と自治体に、緊急に求められている支援とともに、学童保育の制度・施策の抜本的な拡充・確立を求めてきました。

それと同時に、被災した地域の学童保育を支えるための募金を広く全国の学童保育関係者に呼びかけ、これまでの五年間に寄せられた募金は、四九二万九〇二円になりました（二〇一六年二月二十九日現在）。あらためて、募金にご協力くださった皆さんに心から御礼申し上げます。

全国連協ではこれまで、全国の学童保育関係者の皆さんから寄せられた募金をもとに、被災した地域の行政や学童保育関係者と相談しつつ、つぎのような取り組みを行ってきました。

- ① 学童保育施設の再建への支援
- ② 学童保育に必要な備品等への支援
- ③ 運営費への支援
- ④ 研修・相談活動など指導員への支援
- ⑤ 放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援
- ⑥ 学童保育の復旧・復興・発展を進める体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

本誌では、二〇一一年六月号から「東日本大震災 学童保育の一日も早い復旧・復興を願って」のコーナーを設け、各地域の状況や取り組み、学童保育関係者の思いなどを紹介し、全国の学童保育関係者の皆さんと共有してきました。これまでの記事は、全国連協のホームページ※に掲載していますので、この「お願ひ」あめわせしゅうへんをご覧ください。

全国の学童保育関係者の皆さん、被災した地域の指導員と保護者をばげまし、子どもたちの安全と安心を保障する学童保育づくりのため、今後もある長い取り組みが必要です。募金をはじめとして、さらなるご協力をお願い申し上げます。

※ <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/>

東日本大震災学童保育募金の振込先

- ・銀行コード:0005 店番:351
- ・三菱東京UFJ銀行 本郷支店
- ・普通預金 0012273
- ・名義:全国学童保育連絡協議会 代表 きだやすお 木田保男

問い合わせ先:全国学童保育連絡協議会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13
Tel 03 (3813) 0477 Fax 03 (3813) 0765